

岡本 幹男 議員

火災時の初期消火の改善点は

問 消火栓と防火水槽の位置図の正確性を再確認し、地域に周知させる必要はないか。

答 平成28年度から市内の消火栓、防火水槽の位置を市の統合型GISにおいて公表し、誰もが市のホームページ等から確認できるように整備をしていきたい。

高齢者福祉の態勢整備は

問 地域包括支援センターは当初設置より10年を経過するため、利用者の利便性向上の観点から設置場所を見直す必要はないか。

答 袋井南部地域包括支援センターは、指摘のとおり担当地域のエリア外にあり、エリア内への移転に向けて運営主体の袋井市社会福祉協議会と協議中である。



消火栓の標識

袋井市創業支援事業の運用は

問 市の経済活性化のため、市内外から情報の活用など積極的に創業希望者や創業者を掘り起こす施策はあるか。

答 平成28年度は年2回の創業希望者掘り起こしセミナーを計画中である。このほか、ふくろい創業支援ネットワークでの支援、静岡県よるす支援拠点西部地区サテライトの相談窓口などを活用していきたい。

大庭 通嘉 議員

シティプロモーションの進め方は

問 有識者やコンサルタントから、シティプロモーション推進の効果的な手法の一つとして「袋井まつり・屋台の活用」が提案されているが、市の考えはどうか。

答 市内にある136台の屋台は、市を代表する財産であり、シティプロモーションに活用できると認識している。

問 JR袋井駅前の新観光案内所が3月19日にオープンするが、シティプロモーションの観点からも有効活用すべきではないか。

答 イベント・観光情報の発信や、特産品展示、土産物販売など、市の魅力を発信していきたい。

放課後児童クラブの整備を

問 法改正により6年生までの児童を受け入れることになっている。入所希望も多く、計画を前倒しすべきでは。

答 浅羽南小、笠原小、高南小、袋井南小、袋井北小は平成28年度に新築または増築し、定員計画を前倒しする。袋井西小、袋井東小については、平成31年度までに整備できるように調整したい。



東海道どまん中四〇〇年祭(2001年)で市役所に集合した屋台